

流域治水の具体的な取組み内容

下記のとおり流域治水の具体的な取組み内容を報告します。

（企業等名称：株式会社大喜水質管理センター）

<p>目的や背景</p>	<p>私たちは、“普通にトイレを使える”という安心を守る仕事をしています。生きていく上でものすごく大切なことであるにも関わらず、あまりにも普通すぎるが故に、災害に対する備えが十分にできていないのが現状です。災害が起こってトイレが使えなくなった際に、急に助けて欲しいとお問い合わせをもらっても、助けることがほぼ出来ません。いざというときに行動できるように、災害時トイレの現実を知っていただき、備えていただき、練習していただくことが必要と考え、普段より啓発活動を行っています。</p>
<p>取組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水害に備えた機材：仮設トイレ4基</li> <li>・ 防災士：1名</li> <li>・ 水害を想定した避難訓練等：毎年7月の勉強会にて実施</li> <li>・ 災害時のトイレ講習：学校や自治会等から呼ばれて講演しています</li> </ul>
<p>取組状況が分かる写真</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水害に備えた機材</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時のトイレ講習</li> </ul> 



その他

トイレや水回りに特化した企業として、様々な場所でお話できる機会を頂いています。講演を聞いて、災害時のトイレの大切さに気付いてくれた地元の高校生たちが、勉強して、地元の中学生に講演するというコラボレーション企画にも先日参加させていただきました。（その際に国交省の方もいらっしゃっており、この取り組みを教えていただきました。）普段はなかなか取り上げられないジャンルのお話ですが、たくさんの方がとても良かった、勉強になったと言っていました。これからも頑張って活動を続けたいと思います。